

都 市 建 設 局

リニア駅周辺まちづくり

広域交流拠点推進 …… 291



広域交流拠点推進

1 広域交流拠点のまちづくりの推進

本市は、リニア中央新幹線の駅が設置される橋本駅周辺地区と、相模総合補給廠の一部返還地等の土地利用や小田急多摩線の延伸に取り組む相模原駅周辺地区を一体とした「広域交流拠点」の形成に取り組んでいる。

両駅周辺地区それぞれの特性を生かした機能分担のもとで、さらなる商業・業務機能の集積を図り、国内国外を問わず三大都市圏におけるアクセス性の高い立地特性を生かし、首都圏南西部における中心的な地区として周辺都市からの求心性を高めるべく、まちづくりを推進しているところである。

なお、本市をはじめとする首都圏南西部エリアについては、国が策定した首都圏広域地方計画の中で首都圏南西部国際都市群の創出プロジェクトに位置づけられており、首都圏の新しい拠点形成を図ることが記されている。

2 市街地開発事業の調査研究及び事業計画の策定

(1) 橋本駅周辺地区

橋本駅周辺における土地地区画整理事業や街路事業の実施に向けた都市計画の事業認可手続のほか、今後の土地利用の転換に向けて、「まちの将来像」及び「まちづくりの誘導方針」を示し、市民・企業・関係団体・行政などと共有し、多様な主体との連携・協働による持続的に発展するまちづくりに取り組むことを目的として、令和5年度に策定した「相模原市リニア駅周辺まちづくりガイドライン」を踏まえ、地区計画などのまちづくりのルールについて検討を行った。

(2) 相模原駅周辺地区

相模原駅北口地区のまちづくりについて、令和4年5月に「相模原駅北口地区土地利用方針」を策定後、同年7月から、学識経験者や民間事業者、市民を構成員とした「相模原駅北口地区土地利用計画検討会議」を立ち上げ、脱炭素型まちづくりといった昨今の社会潮流を取り入れながら検討を進め、令和5年3月にこれまで検討した内容を中間的に取りまとめた「相模原駅北口地区土地利用計画の方向性」を公表した。

土地利用計画の策定に向けて令和6年7月から民間提案募集を実施し、民間事業者からの提案内容も参考としながら、導入機能や基盤等の整備の方向性などについて検討を行った。

3 リニア中央新幹線の建設促進

リニア中央新幹線は、JR東海により、現在、品川・名古屋間の開業に向けて事業が進められているところであるが、本市では、市内の工事における安全対策等について、関係機関と調整を図ったほか、車両基地が建設される鳥屋地区等、事業に関連する地域と継続的に懇談するなど、事業の促進に向けた取組を行った。

また、JR東海との協定に基づく用地取得等事務について、区分地上権設定のための取組を行った。

【リニアまちづくり課…1、2】

【リニア拠点整備事務所…1、3】

【相模原駅周辺まちづくり課…1、2】